

いのちを守り、繁栄を実現する。



幸福実現党

幸福実現NEWS

発行所 幸福実現党本部
〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-8
電話 03-6441-0754
©幸福実現党本部2019年
平成31年1月7日

[党員限定版]
第84号

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS

新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年も、地方選挙や支持者拡大の取り組みなどにご尽力を賜り、
心より感謝申し上げます。

本年、立党10周年の節目の年、
必ずや国政突破と地方選勝利に向けて
全身全霊で戦い抜いてまいります。



釈 量子



未来をかけた戦いの年 2019

幸福実現党の存在意義

2018年は、世界史が変わる瞬間を目の当たりにした年でした。北朝鮮のミサイル発射や核実験の強硬路線が一転、6月の米朝会談により「北朝鮮の無血開城」への道筋がつけられたのです。これによって大川隆法党総裁が心血を注がれた未来の設計図の一枚が完成したことになります。

さらにトランプ米大統領は、中国に貿易戦争を仕掛け、軍事力の源である経済を締め上げています。世界は「米中新冷戦」時代に突入したのです。

日本は中国を選ぶのか、米国を選ぶのかの「決断」を迫られています。政財界もマスコミも、中国におもねった姿勢は、もう許されません。

大川党総裁は2018年10月、ドイツでの講演で、「第三次世界大戦が、2025年から2050年の間に起きるだろう」「それは習近平の拡張主義、覇権主義を通して南シナ海から始まる」と警鐘を鳴らしました。「中国製造2025」の完成とともに、対中強硬のトランプ大統領と親日のプーチン大統領の任期が終わり、世界のパワーバランスが崩れる時、政治的判断によっては、南シナ海から宇宙空間に至るまで、五星紅旗が翻ることになりかねません。

こうした中、日本でトランプ政権に最も歩調を合わせられる政治勢力は、幸福実現党であると自負しています。また、唯物論国家の思想洗脳に対峙して信教の自由など人間の尊厳を守る最後の砦となるのも、宗教政党の私たちだけです。

立党10周年を迎える本年、これまでご支援くださってきた皆様への感謝を胸に、必ずや国政および地方選挙での勝利を実現してまいります。

「幸福実現党の精神」で新生を

私たちが本年まず取り組むべきことは、何でしょうか。昨年8月、大川党総裁より賜った「幸福実現党の精神」を参究し、血肉に変えて頂きたいのです。現在、公案研修として赤坂・ユートピア活動推進館を中心に開催するとともに政調会が政策研究を重ねています。党員の皆様に、ぜひ公案研修をお受け頂きたいと考えております。受講者からは、「改めて幸福実現党の真なる使命に目覚めた」「身命を賭す決意ができた」など感動の声が止みません。既存の政党との差別化は言うに及ばず、宇宙時代にふさわしいスケールで、普遍的仏法真理に根差した政治哲学が示され、幸福実現党への誇りと新生のエネルギーに溢れます。そして、近未来の戦争という国家存亡の

危機に備えなければならないということです。中国の野望に手を貸す政治家も多く、断固とした姿勢で「国防強化」を訴える政治勢力が必要です。それは取りも直さず、一人でも多くの方に、幸福実現党を選択していただくことにほかなりません。

外交においては、ロシアを悪玉と見る米ソ冷戦時代の思考を捨て、対中包囲網が形成できるかどうかにか国家の命運がかかります。わが党が主張する「日露平和条約」の早期締結は、中露の分断を図るとともに、中国の南進を止める国家戦略です。大川党総裁は、シベリアからユーラシアを通る壮大な大陸間リニア構想を提起していますが、こうした日本の「大技」をロシアや各国は期待しています。日本の次世代に、未来の夢を託そうではありませんか。

経済では「消費減税で景気回復」を図るべきです。繁栄する国の基は中小企業です。とりわけ製造業の発展は日本の生命線です。基幹産業を立ち上げ、まずはGDP 2位奪還計画を立て、国力倍増、10倍増を目指す未来を描かねばなりません。

日本には今、不可能思考が蔓延しています。人口減少や不況の長期化、膠着した改憲議論——。回天の偉業を成し遂げるのはいつの時代も無名の菩薩です。地球的正義のもと、噴出する勇気で立ち上がり、神から流れ来る情熱の炎を人から人へと無限に点じていこうではありませんか。いのちを守り、日本に空前の繁栄を実現するために、本年もともに頑張ってください！

2019

地方選、そして 参院選大勝利へ!

2019年の幸福実現党の戦いについて、
松島幹事長に聞きました。



議員団100人、国会議員の輩出を

2019年、幸福実現党は立党10周年という一つの大きな区切りを迎えます。5月には新しい元号に変わり、政治的にも経済的にも大変だった平成の30年を越えて、次の明るい30年を開く区切りになるでしょう。4月の統一地方選、そして7月の参院選に向けて、準備は整っています。

幸福実現党は立党以来、北朝鮮の脅威など具体的な危機を訴え、啓蒙活動にあたる活動でも一定の信用、評価をいただきました。さらに、経験を重ねる中で、各地の地方選ではかなり「勝てる選挙」ができています。地方議員団は昨年12月末で22名となり、「議員団100人体制」に向けての受け皿を作っています。地方議員団は相互連携し、政策勉強会を重ねるなど力を付けており、当選すると議員として即活躍できるようになっています。国政についても広く経験を積み、2017年から都道府県単位の活動体制を作りました。特別党員など賛同者も増えて、党勢は格段に高まっています。こうした取り組みの先に、国政選挙での当選者が出ると確信しています。

統一地方選では、全県に議員を輩出することを目指して取り組みます。そして国政においては参院選で

国会議員を輩出し、年末には「議員団100人体制」を実現したいと考えています。

国力を守る「消費増税中止」

今回の参院選で掲げたい旗印の一つは「消費増税中止」です。幸福実現党が立党したときに二大政策として掲げたのは、「消費増税中止」「北朝鮮のミサイル阻止」でした。国力は「経済力」と「防衛力」のことですから、いずれも日本という国家の存続に関わる重大な問題だったのです。北朝鮮の脅威については米朝会談で一つの区切りがつかしました。また、近年は日本の国会でも国防を正面から取り上げられるようになるなど、防衛面は前進しています。

一方、経済は一時持ち直したものの、消費増税でまた悪くなるようとしています。だからこそ、絶対に阻止したいのです。消費増税は各家庭、企業、そして経済全体のお金の流れを止めてしまい、大きな悪影響となるからです。軽減税率は何を対象とするかについて政治権力が入り込んできますし、節税のために国民が時間とエネルギーを取られてしまえば本末転倒です。

むしろ、シンプルな税制で、価値を生み出す経済活動に力を注げるようにしたいのです。政府への依存が進むことで、一人ひとりが自立し、プライドを持って生きていくという、根本が崩れていくことに対しても警鐘を鳴らしたい。消費税の問題は思想的にも重要な旗印でもあります。「今世紀最大の大勝負」に向けて、党員一丸となって戦い抜いてまいります。

松島弘典

幹事長(兼)選対委員長

まつしま・ひろのり
1957年生まれ。東京都立大学(現・首都大学東京)工学部卒業。三菱商事(株)入社後、ナイジェリア三菱商會社、輸出貿易部門勤務。1994年、幸福の科学に奉職。理事長、拠点開発局長などを歴任。



「平成30年7月豪雨災害 支援募金」を開設し、全国より700万円以上の支援募金を賜り、被災地の自治体にお届けしました。ご支援に感謝申し上げます。写真上は、広島県呉市、下は岡山県倉敷市への支援金お届けの様子。



2013年9月、消費増税中止の署名が全国で約14万筆集まり、内閣総理大臣宛に提出しました。2015年10月への10%への増税は先送りとなりましたが、2019年10月の増税を食い止めるべく、活動を続けています。



2019年 スケジュール

1月～3月

- ◇新ポスター掲示のお願い
- ◇消費増税中止署名活動
- ◇後援会入会のお勧め



地域の皆様のお声を伺います

4月 統一地方選



地方議員団

7月 参院選



2017年 衆院選最終日

5月 立党10周年

2018年 党全国大会の様子

